

SAFETY SYSTEM OPERATING METHOD

Publication number: JP11264268

Publication date: 1999-09-28

Inventor: PLASCHKO HEINRICH; KUHN MATHIAS

Applicant: TELEFUNKEN MICROELECTRON

Classification:

- International: E05B49/00; B60R25/00; B60R25/10; E05B65/20; G07C9/00; H04B1/034; E05B49/00; B60R25/00; B60R25/10; E05B65/20; G07C9/00; H04B1/02; (IPC1-7): H04B1/034; E05B49/00; B60R25/00; B60R25/10; E05B65/20

- European: B60R25/00; G07C9/00E2; G07C9/00E6

Application number: JP19980327407 19981014

Priority number(s): DE19971047654 19971029

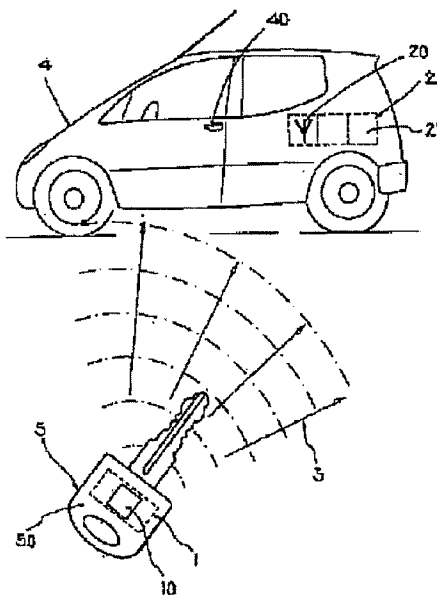
Also published as:

EP0913548 (A2)
US6144293 (A1)
EP0913548 (A3)
DE19747654 (A1)

Report a data error here

Abstract of JP11264268

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a safety system operating method allowing only an authorized user to access a protected object and to handle easily.
SOLUTION: A transmitting unit 1 detects the physical feature and fingerprint of a user by a detector 10 and transmits an identification signal of the user to a safety device 2. The safety device 2 collates the transmitted identification signal with a stored identification signal of the user with a right to release the safety device, and the safety device can be released only in the case of coincidence. Access of an unauthorized user can therefore be prevented even in the case of unjustly obtaining a transmitter.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-264268

(43) 公開日 平成11年(1999) 9月28日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	F I	
E 0 5 B 49/00		E 0 5 B 49/00	S
B 6 0 R 25/00	6 0 6	B 6 0 R 25/00	6 0 6
	25/10		25/10
	6 1 7		6 1 7
E 0 5 B 65/20		E 0 5 B 65/20	
// H 0 4 B 1/034		H 0 4 B 1/034	C
審査請求 未請求 請求項の数9 書面 (全 4 頁)			

(21) 出願番号 特願平10-327407
(22) 出願日 平成10年(1998)10月14日
(31) 優先権主張番号 1 9 7 4 7 6 5 4 . 6
(32) 優先日 1997年10月29日
(33) 優先権主張国 ドイツ (DE)

(71) 出願人 391000830
テミツク テレフンケン マイクロエレクトロニツク ゲゼルシャフト ミツト ベシユレンクテル ハフツング
TEMIC TELEFUNKEN microelectronic GmbH
ドイツ連邦共和国 ハイムプロン テレジエンシュトラッセ 2
(72) 発明者 ハインリヒ・プラスヒコ
ドイツ連邦共和国シュヴァーバツハ・イム・テーフエン・タール61
(74) 代理人 弁理士 中平 治

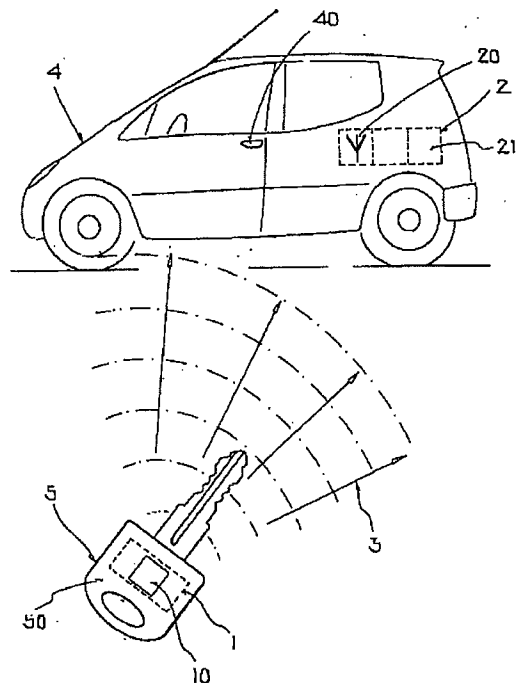
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 安全システムの動作方法

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 権限を有する利用者だけが、保護された物体へのアクセスを可能とし、かつ利用者が容易に扱うことができる安全システムの作動方法の提供。

【解決手段】 送信ユニット1は利用者の身体的特徴・指紋を検出器10によって検出し、利用者の識別信号を安全装置2へ発信する。安全装置は安全装置を解除する権利を有する利用者の記憶された識別信号により送信された識別信号を照合し、一致した場合にのみ、安全装置を解除できることを特徴とする。これにより、たとえ送信装置を不正に入手した場合にも、権限のない利用者のアクセスを防止できる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 送信ユニット(1)により利用者によって安全装置解除可能な安全装置(2)を有する、安全システムの動作方法において、

一送信ユニット(1)が、検出器(10)によって、利用者の体に固有の特徴を検出し、かつ利用者の特徴付ける識別信号(3)を発生し、

一かつ安全装置(2)が、安全装置(2)の安全装置解除の権利を有する利用者の記憶された識別信号と識別信号(3)の一致の際にだけ安全装置解除することができる

ことを特徴とする、安全システムの動作方法。

【請求項2】 検出器(10)が、利用者の体に固有の特徴として利用者の指紋を検出することを特徴とする、請求項1に記載の方法。

【請求項3】 識別信号(3)が、無線伝送区間を介して送信ユニット(1)から安全装置(2)に伝送されることを特徴とする、請求項1又は2に記載の方法。

【請求項4】 識別信号(3)が、安全装置(2)内において、安全装置(2)のメモリ(21)内に記憶された識別信号と比較されることを特徴とする、請求項3に記載の方法。

【請求項5】 送信ユニット(1)が、利用者によって識別信号(3)を発生しかつ伝送するスイッチの操作により活性化されることを特徴とする、請求項1ないし4の1つに記載の方法。

【請求項6】 自動車の権限のない利用を防止するために利用されることを特徴とする、請求項1ないし5の1つに記載の方法。

【請求項7】 自動車(4)の電子的出発禁止装置及び／又は電気的にロック可能な閉鎖装置を安全装置解除するために利用されることを特徴とする、請求項6に記載の方法。

【請求項8】 追加的な安全装置として、かぎ(5)によってロック解除可能な錠(40)が設けられていることを特徴とする、請求項1ないし7の1つに記載の方法を実施する安全システム。

【請求項9】 送信ユニット(1)が、かぎ(5)のグリップ(50)内に統合されていることを特徴とする、請求項8に記載の安全システム。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】本発明は、送信ユニットにより利用者によって安全装置解除可能な安全装置を有する、安全システムの動作方法に関する。

【0002】

【従来の技術】このような方法は、例えばドイツ連邦共和国特許出願公開第3507389号明細書から公知である。この方法において安全システムの安全装置は、ロック可能な物体の権限のない利用を防止するために使わ

れる。この安全装置は、コード信号によって安全装置解除され、このコード信号は、利用者が体に携帯する送信ユニットから送信され、かつこの送信ユニットに固定的に割当てられている。この方法の重要な欠点は、送信ユニットの紛失又は盗難の際に、保護すべき物体の保護がもはや保証されていない点にある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】本発明の課題は、送信ユニットの紛失又は盗難の際にも、権限を有する利用者だけに保護すべき物体へのアクセスを可能にし、かつ利用者のためにできるだけ簡単に取扱うことができる、特許請求の範囲第1項のの上位概念に記載の安全システムの動作方法を提供することにある。

【0004】

【課題を解決するための手段】この課題は、特許請求の範囲第1項の特徴部分における特徴によって、次のようにして解決される。すなわち送信ユニットが、検出器によって、利用者の体に固有の特徴を検出し、かつ利用者の特徴付ける識別信号を発生し、かつ安全装置が、安全装置の安全装置解除の権利を有する利用者の記憶された識別信号と識別信号の一致の際にだけ安全装置解除することができる。

【0005】本発明によれば、利用者の体に固有の特徴によって一なるべくその指紋によって一、利用者に対して安全装置の、とくに保護すべき自動車の電子出発禁止装置及び／又は電気的にロック可能な閉鎖装置の安全装置解除を行なう権限があるかどうかチェックされる。

【0006】そのために送信ユニットは、利用者の体に固有の特徴を検する検出器によって、利用者の特徴付ける識別信号を発生し、一その際、検出器の出力信号は、場合によっては暗号化される。それから識別信号は、なるべく無線伝送区間を介して、例えば無線信号、赤外線信号又は誘導信号として、安全装置に伝送され、かつここにおいて安全装置のロック解除の権利を有する利用者の記憶された識別信号と比較される。送信ユニットから発生された識別信号と記憶された識別信号が同じである場合、それから安全装置は、安全装置解除することができる。

【0007】保護すべき物体は、追加的な機械的な錠によって保護することができ、この錠は、適合したかぎによってロック解除することができる。この時有利なように、送信ユニットは、かぎのグリップ内に統合されているので、検出器によって指紋を検出する場合、送信ユニットの取扱いはいきわめて簡単である。この場合、かぎ操作の他に、利用者を識別するためのその他の操作は不要である。

【0008】本方法は、閉鎖可能な物体に対する、例えば自動車、金庫又は部屋に対する高度の盗難一／侵入防止を提供するが；電気又は電子装置の権限のない利用を防止するためにもきわめて良好に使用することができ

る。

【0009】

【発明の実施の形態】次に本発明を図面を参照して実施例により詳細に説明する。

【0010】図によれば、保護すべき物体は、安全装置2及び送信ユニット1を含む安全システムによって権限のない利用を防止しようとする自動車4である。車両ドアの錠及び点火錠をロック解除するために設けられたかぎ5は、そのグリップ50の表面に検出器10を有し、この検出器は、指紋を調べるために指紋検出器として構成されている。検出器10は、グリップ50内に統合された送信ユニット1の一部であり、この送信ユニットは、利用者によりスイッチを操作することによって活性化される。このスイッチは、かぎ5に設けることができ、かつ例えば検出器10を押すことによって操作されるが、車両側においてドア錠40又は点火錠に設けることもでき、かつこの場合ドア又は点火錠内にかぎ5を差込むことによって、又はこの錠においてかぎを回すことによって操作される。

【0011】活性化された状態において、送信ユニット1は、利用者の指紋から検出器10によって、利用者を特徴付ける識別信号3を発生する。この識別信号は、無線伝送区間を介して、自動車4内に設けられた安全装置2の受信ユニット20に伝送され、かつここにおいて選

ばれた利用者の、すなわち安全装置2の安全装置解除に対してかつ自動車4の利用に対して権限を有する利用者のメモリ21内に記憶された識別信号と比較される。送信ユニット1から発生された識別信号3が、記憶された識別信号と同じである場合、安全装置2は、それから安全装置解除され、又は安全装置解除のためにエネーブルされる。その際、安全装置2において、電子出発禁止装置又はアクセス及び走行権限付与システムが問題になり、このシステムは、有利なように権限のない利用者による車両4のスタート及び車両ドアの錠のロック解除を阻止する。

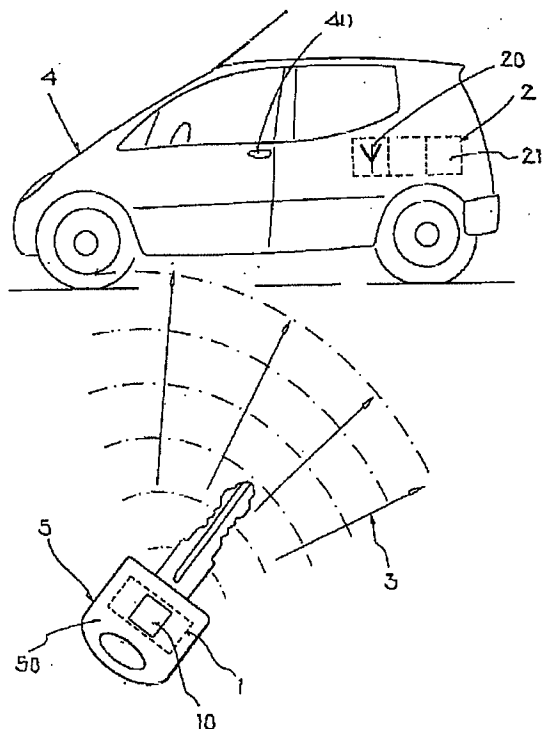
【図面の簡単な説明】

【図1】本発明による方法を自動車において実施する例を示す略図である。

【符号の説明】

- 1 送信ユニット
- 2 安全装置
- 3 識別信号
- 4 自動車
- 5 かぎ
- 10 検出器
- 21 メモリ
- 40 錠
- 50 グリップ

【図1】



フロントページの続き

(72) 発明者 マテイアス・クーン
 ドイツ連邦共和国エツケンタール・デイル
 ベルクシュトラッセ 1